

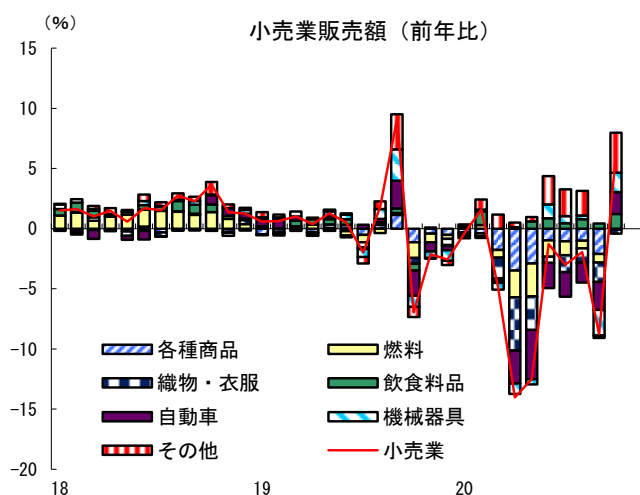
Economic Indicators

発表日: 2020年11月30日(金)

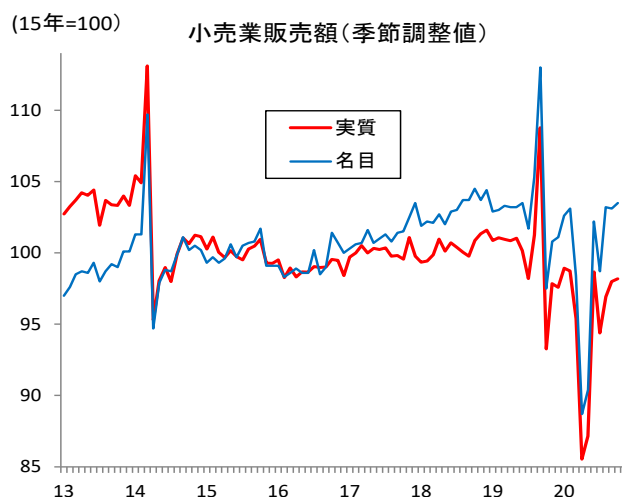
小売業販売額(2020年10月)

～前月比+0.4%となるも、感染状況の悪化により先行きの不透明感は強まる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
副主任エコノミスト 小池 理人 (TEL: 03-5221-4573)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 実質化及び実質値の季節調整は第一生命経済研究所

○前月比 (季節調整値) での伸び率は+0.4%

経済産業省から公表された20年10月の小売業販売額は前年比+6.4%となった。昨年生じた駆け込み需要の反動減によって押し下げられていたことの裏が出たため、前年比の伸び率は増加に転じた。季節調整済み前月比では+0.4%の増加となった。

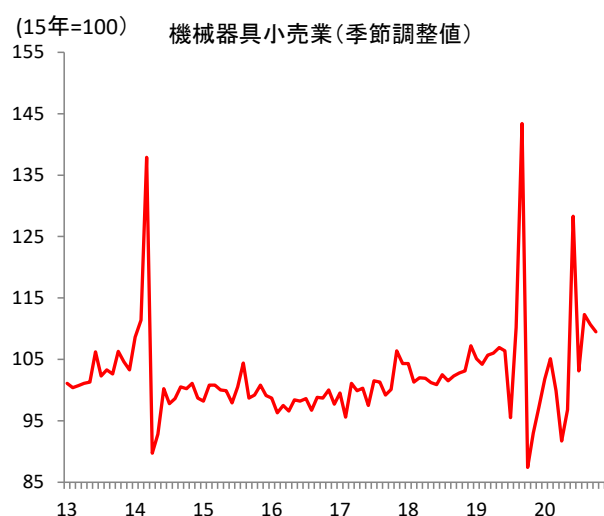
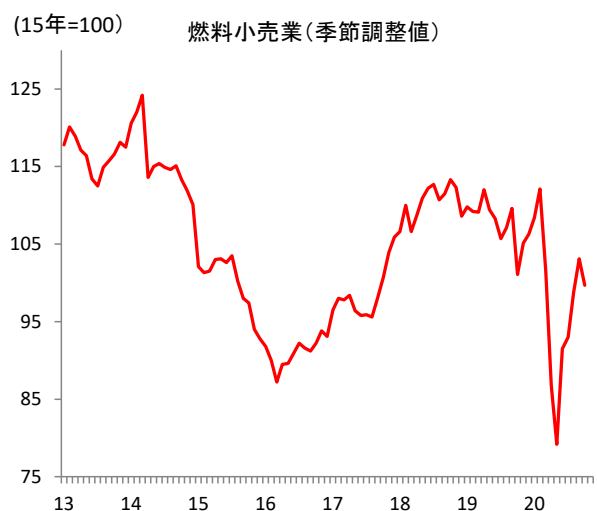
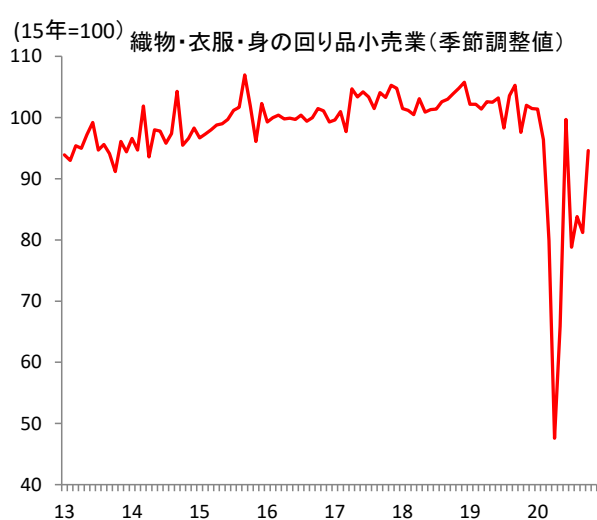
なお、業種別 (実質値、季節調整値) に10月の前月比の数字をみると、織物・衣服・身の回り品小売業 (前月比+15.6%) や自動車小売業 (同+2.3%)、機械器具小売業 (同+1.2%) が増加する一方で、燃料小売業 (同▲1.1%) や各種商品小売業 (同▲0.9%) が減少した。自動車小売業は5か月連続の増加となっており、力強い回復が続いている。

足もとの個人消費の動向をみると、財消費については緩やかな持ち直しの動きが続いている。サービス消費については財消費と比べて回復の動きに遅れがみられていたが、10月についてはGoToキャンペーンをはじめとした政策的な後押しもあり、回復ペースが強まった可能性が高いだろう。10月までの個人消費は持ち直しの動きが続いていたものとみられる。

○個人消費持ち直しの動きは、感染状況の悪化に伴い足踏み状態へ

このように、持ち直しの動きが続く個人消費だが、今後は感染状況の悪化を受けて回復の動きは足踏みとなることを見込まれる。足もとで新型コロナウイルスの感染者数が再び増加していることから、消費への下押し圧力が強まることが想定される。企業業績悪化に伴う冬季賞与の減少も家計の財布の紐を固くすることに繋がるだろう。感染状況悪化に伴い、GoToイートで一部都道府県について食事券

の発行が停止され、GoTOトラベルでは大阪市・札幌市を目的とする旅行が除外されるなど、これまでサービス消費を政策的に支えてきたGoTOキャンペーンについても見直しの動きが強まっている。これらの要因により、今後は財消費・サービス消費ともに停滞感が強まり、個人消費の回復は足踏み状態となることが見込まれる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 実質化及び実質値の季節調整は第一生命経済研究所

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

